



JR東労組仙台

East Japan Railway Workers' Union SENDAI

東日本旅客鉄道労働組合仙台地方本部

発行者:佐々木克之

編集:情宣部



2024年3月12日 No.62 東北三地本HP

3月8日会社回答に対する職場の声 第一弾 ③

・春闘と夏季手当6点確認している。会社資料だとベア上昇すると何カ月という書き方。これはごまかしてはないか。・24春闘の特色は結果的に額とかよく出したというような雰囲気になっていた。組合が勝ち取ったという考えが出ないような春闘を創られた。会社がうまいと思った。会社よく出したというような土台を作られた。・若手社員が辞めていく中で、若い人にもっと厚くなるように出すべきだ。上が多く出るような内容なので若手の離職に関して歯止めにならないと感じた。・55歳以上にも出している。所定昇給額による格差は出てしまっている。生涯かかわってくるベアで2,600円の格差はつけすぎ。物価が高くなるのはエルダーも一緒。率の話があるがエルダーの率でいうのであればもともと少ないエルダーに率で上回るように出すべきだった。寒冷地手当とかも出てないから。・格差をつけたから、絶妙な金額だ。でも文句は出なさそうな金額…。・こちらの要求に答えるだけの体力がありながら「ぶっちゃけもっと欲しいけど、思ったより出るしこんなもんかな」と会社と友達の人達に思わせ、それをあたかも社員全体の総意だとして収めようという意図が感じ取れてムカつきますね。社員は会社にナメられてると感じます。職責の重みをベアに持ち込むのも個人的には違うような気がします。額に関してははまらずだとは思いますが会社の姿勢が気に入らないです。・4月からの処遇改善が、気になります。ベアで10000円はなかなか絶妙なカンジですかね。良くも悪くもって感じた。社友会がこぞって、賛辞しそうですね。・今回だけを見てはいけないのかなと思います。世間相場に合わせて毎年1万ベアだと、人件費増になるのを会社は危惧するのでこのままの賃金体系が続くとは思えないですね。格差も増えるかと…。今の賃金体系が続くであれば、まだ妥協できる金額ではあるのかなと思います。それは無いと思いますが…。・ベアと定昇一万元以上アップに驚いていたが、いざ生まれてくる子供を今の給料で養っていけるかと思うと、まだまだ少ないです。・定額と定率を併用しての支給だが、職責の重みより離職者や新卒が魅力ある会社だと思える賃金にしてほしいと思うと定額だけにしてほしかった。経営陣は目の前の現実をもっと見た方が良く思う。・副長以上は(ベア)見合っているように思えるが、若手には少ない。・今まであまり出してこなかった分、有難みは感じる。・主任職だと、賃上げ5%に達しない人もいるのは事実。・なぜ回答指定日より早く回答してきたのか?・夏季手当、昨年度の業績と比べるともっと出せたのではないかと。・同時回答が、会社の作戦なのかなって思いました。数字は正直、妥当な数字だとは思いますが。・正直、社友会会員は不感症になっている。ボーナスはもっと出すべき。・金額もですけど、毎回のように回答締め切り日より前に決着ついてるのが腑におちません。・第一線で奮闘している社員の多くは主任職以下の社員であり、表記されているベースアップ平均額以下である。係職、指導職の若い社員は特に格差を感じる内容であり、モチベーションの低下につながる。どう考えてもベースアップに所定昇給額の格差を用いる必要はないと思う。・等級間での格差をつけて若手への配慮がないから若手は不満を持つでしょうね。よく分かっていない若手は出るだけでいいと思ってるのかもしれませんが、ちゃんと理解すればクソなことだと今の若い子は理解出来ます。しっかり対話して現状がいかにダメなことなのか知ってもらう必要があると思います。いつものように期限ギリギリまで議論せず最終決定だと打ち切ってくるのは誠意が見られません。会社もだしひがし労なんかはどうせ妥結するんでしょうけど。・確かにベアに格差はいらない!分断が目的だね。早期回答は、組合軽視。春闘破壊だね。・ボーナスについてですが、こん低額回答されたら、6月支給直後に大量に退職者でそう。いや絶対各職場で1、2人辞めるだろう。・これだけ働かされて割に合わない。要求に見合った働きをしている。業務融合で職場と自分の将来が想像できず、モチベーションが下がる。ベアが上がったという感触はある。・潔く12,000円の満額回答をしてほしかった。・ボーナスは低すぎる。期間があるので再申し入れするべき